

2022 年 10 月 31 日
石油鉱業連盟

CCS に係る支援策について

1. 収益性が不確実な段階における CCS 事業コストに対する 100%補助

- ・ 貯留地選定までの適地調査等の事前コストは全額国負担とすることが必要。
- ・ CAPEX および OPEX は 100%補助とすることが必要。
- ・ 国内 CCS 事業のみならず、日本に効果が裨益する海外 CCS 事業に対しても直接支援を行うことが必要。

2. 税制上のインセンティブ付与

- ・ 直接支援だけでなく、海外の税制も参考に、CCS 事業全体、あるいは探査、廃鉱、モニタリング費用等への税制上の優遇措置を検討することが必要。

3. 社会受容性確保の推進

- ・ 地元理解を得ながら CCS 事業を推進することが重要であり、合理的かつ丁寧な説明を国が事業者と連携して行う等、早期に取り組むことが必要。

4. JOGMEC の支援対象に陸域追加

- ・ CCS 事業は海域のみならず陸域でも実施する可能性があるため、JOGMEC の支援対象に陸域も追加することが必要。

5. CCS 事業法の早期制定と二重規制排除

- ・ 先般提出した緊急提言でも言及したとおり、CCS 事業法は鉱業法、鉱山保安法の二法をベースに早期に制定され、同法に一元化されるべきであり、二重規制にならないようお願いしたい。

以上